

第79期 報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

CENTRAL 中央自動車工業株式会社

本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 4丁目2番30号
電話(06)6443-5182(代表) FAX(06)6443-6654
<http://www.central-auto.co.jp>

証券コード 8117



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第79期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
坂田 信一郎



事業の概況

当連結会計年度のわが国経済は、米国をはじめとする好調な世界経済を背景に輸出・生産・設備投資が共に伸長し、企業業績も堅調に推移いたしました。また、個人消費も底堅く、雇用環境は一部の業種で人手不足が顕在化するなど完全雇用に近い水準にあり、景気は緩やかながら拡大基調を辿りました。

このような景況下、国内の新車総販売台数(軽を含む)は、前年比2.3%増の約519万台と2年連続で増加しました。内訳は、登録車が同0.6%減の約333万台で

3年ぶりのマイナスとなり、前年の燃費不正問題から回復した軽自動車と同8.1%増の約185万台と4年ぶりに増加に転じました。

当社グループの国内部門では、地域密着型営業によるサービス体制の更なる強化と、新商品のラインアップ拡充と提案を通じて、既存得意先のシェア拡大を図るとともに、異業種を含めた新規取引先の開拓および新しいビジネスモデルの構築に取り組みました。

また、昨年6月に新設した研究開発施設「中之島R&Dセンター」は、新製品の開発および既存製品の改良のスピードアップを図り、商品品質に対する信頼性向上に加え、取引先との関係強化に貢献いたしました。

海外部門では、引き続き現地法人と連携しながら中東アフリカ地域等で現地密着営業を継続し、販売力強化に努めました。またロシアや中南米地域において販路の見直しと共に新規開拓を推進いたしました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、当社の主力商品の1つであるCPCブランド商材メーカーとして生産が順調に推移しております。

これにより、当社グループの売上高は201億54百万円(前年比108%)、営業利益は34億23百万円(同

111%)、経常利益は38億47百万円(同111%)となりました。

なお、特別損失として固定資産の減損損失36百万円を計上いたしました結果、親会社株主に帰属する当期純利益は27億27百万円(同114%)となり、増収増益になりました。

当期末の配当金につきましては、1株当たり22円とさせていただきます。

すでに中間配当金として1株当たり19円をお支払いいたしておりますので、通期の1株当たりの配当金は普通配当で前期比6円増配の41円となりました。

今後のわが国経済は、米国の保護主義に傾斜する通商政策とその貿易摩擦への影響度合、燃料や原材料価格の上昇、地政学的リスク等不透明要素が残るものの、概ね、引き続き緩やかな景気拡大を辿るものと予想されます。

こうした状況下、当社グループは、研究開発施設の本格稼働を機に、新規取引先の開拓、新商品の開発、自動車産業の環境の変化を見据えての新しいビジネスモデル構築に積極的に取り組んでまいります。

また、グループ企業の永続的発展を志向し、企業価値向上を図るとともに開発商品の海外展開や異業種との取組等、新規事業への投資にも積極的に挑戦してまいります。

そのため、当社の将来を見据えた若手人材の長期的育成と現場の実践経験を活かす社員力の向上を図り、新しい需要の創造により社会に貢献できる開発型企業として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 坂田 信一郎

会社の概要

設立	昭和21年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 241名 当社の従業員数 231名

事業内容

当社／自動車用部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入
連結子会社／自動車用品製造販売ならびに自動車部品、用品販売および輸出入

国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(06)4803-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0821 広島市西区庚午北2-10-20 電話(082)507-7761(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒761-8031 高松市郷東町4-17 電話(087)881-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 103号室 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒815-0031 福岡市南区清水4-7-14 電話(092)554-3100(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒890-0052 鹿児島市上之園町19-17 ネオアクシス甲南101 電話(092)554-3100(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	中之島R&Dセンター	〒530-0005 大阪市北区中之島4-1-15 電話(06)6443-5843(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	東日本物流センター	〒345-0012 埼玉県北葛飾郡杉戸町深輪398-13 センコー(株)埼玉北支店杉戸PDセンター内 電話(0480)53-7112(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸PDセンター内 電話(078)990-0722(代表)
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市長穂区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

海外事業所

デトロイト(米国)／シンガポール／広州(中国)／ドバイ(UAE)／
ジャカルタ(インドネシア)／マニラ(フィリピン)
／ヤンゴン(ミャンマー)／台北(台湾)

子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)
CAPCO PTE LTD(シンガポール)

株式の状況

(平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当事業年度末の株主数		3,283名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.85
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,020	5.63
日本精工株式会社	914	5.05
株式会社三菱東京UFJ銀行	888	4.91
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.17
上野 万里子	685	3.78
TPR株式会社	663	3.66
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.25
株式会社みずほ銀行	531	2.93
株式会社椿本チエイン	500	2.76

- (注) 1. 持株比率は自己株式(1,904,318株)を控除して計算しております。
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行へ
行名を変更しております。

連結貸借対照表

資産の部	
科目	金額(千円)
流動資産	14,426,823
現金及び預金	10,053,620
受取手形及び売掛金	2,938,524
有価証券	500,090
商品及び製品	543,971
仕掛品	3,920
原材料及び貯蔵品	12,274
前渡金	9,990
繰延税金資産	275,460
その他	93,388
貸倒引当金	△ 4,419
固定資産	13,250,464
(有形固定資産)	(2,528,822)
建物及び構築物	857,828
機械装置及び運搬具	20,237
工具・器具及び備品	61,333
土地	1,588,043
建設仮勘定	1,380
(無形固定資産)	(450,908)
商標権	175,031
のれん	73,092
ソフトウェア	184,758
その他	18,026
(投資その他の資産)	(10,270,733)
投資有価証券	9,610,270
その他	660,462
資産合計	27,677,287

負債の部	
科目	金額(千円)
流動負債	3,648,254
支払手形及び買掛金	1,880,237
未払法人税等	748,444
賞与引当金	292,253
その他	727,318
固定負債	1,314,179
繰延税金負債	80,824
退職給付に係る負債	1,148,386
長期預り保証金	23,400
未払役員退職金	61,568
負債合計	4,962,434
純資産の部	
科目	金額(千円)
株主資本	21,816,191
資本金	1,001,000
資本剰余金	4,215,365
利益剰余金	17,317,232
自己株式	△ 717,406
その他の包括利益累計額	898,662
その他有価証券評価差額金	984,486
繰延ヘッジ損益	510
退職給付に係る調整累計額	△ 86,335
純資産合計	22,714,853
負債純資産合計	27,677,287

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

科目	金額(千円)	
売上高		20,154,548
売上原価		12,010,128
売上総利益		8,144,420
販売費及び一般管理費		4,720,571
営業利益		3,423,848
営業外収益		458,255
受取利息及び配当金	57,999	
持分法による投資利益	291,221	
その他	109,034	
営業外費用		34,518
支払手数料	9,295	
その他	25,223	
経常利益		3,847,585
特別損失		36,527
特別損失	36,527	
税金等調整前当期純利益		3,811,058
法人税、住民税及び事業税	1,147,829	
法人税等調整額	△ 63,940	1,083,888
当期純利益		2,727,169
親会社株主に帰属する当期純利益		2,727,169

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	1,001,000	4,184,339	15,277,948	△ 726,719	19,736,568
当期変動額					
剰余金の配当			△ 687,886		△ 687,886
親会社株主に帰属 する当期純利益			2,727,169		2,727,169
自己株式の取得				△ 118	△ 118
自己株式の処分				9,431	9,431
自己株式処分差益		31,026			31,026
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	31,026	2,039,283	9,313	2,079,622
当期末残高	1,001,000	4,215,365	17,317,232	△ 717,406	21,816,191

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	1,010,181	894	△ 110,498	900,577	20,637,146
当期変動額					
剰余金の配当					△ 687,886
親会社株主に帰属 する当期純利益					2,727,169
自己株式の取得					△ 118
自己株式の処分					9,431
自己株式処分差益					31,026
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△ 25,694	△ 384	24,163	△ 1,915	△ 1,915
当期変動額合計	△ 25,694	△ 384	24,163	△ 1,915	2,077,707
当期末残高	984,486	510	△ 86,335	898,662	22,714,853

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

取締役と監査役 (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
代表取締役副社長	村井 尚
専務取締役	宮井 智史
専務取締役	藤井 俊和
常務取締役	鳥野 善文
取締役	柿野 雅文
取締役	近藤 雅之
取締役	廣内 学
取締役	阿部 啓
取締役	久保井 聡明
常勤監査役	石塚 一博
監査役	池田 正實
監査役	中山 正隆

- (注)1. 取締役 久保井聡明氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2. 監査役 池田正實、中山正隆の両氏は、会社法第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレキシブルギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	無機防汚コーティング剤 アルコール検知器 カーナビ画面保護フィルム 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います なお、電子公告は当社ウェブサイトに掲載し、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

《ご注意》

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

《ご案内》

- 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がございますのでお気を付けください。
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

主な取扱商品

ボディコーティング



CPCボディーマー マキシム CPCスーパープレミアムコーティング エクスG

- 役割の異なる3重のガラス質被膜をボディに形成。自動車用ボディコーティングに求められる機能・特性を最高レベルで発揮します。
- 更にマキシムは、3重のガラス質被膜を焼き付け施工し、圧倒的な耐久性を持たせ、新車時の施工で7年間保証を実現しました。



CPCプレミアムコーティング ダブルG ／ダブルGベータ

- 自動車の塗装面に2重のガラス質被膜を形成。光沢、艶、膜厚感、持続性、汚れから守る効果等、全てを高レベルで実現します。
- お手入れも一段とラクになり、輝きや光沢を際立たせ、その美しさを長期間守ります。



※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。



ガラスコーティングガードコスメ ／ガードコスメSP

- 高級感のある輝きや光沢を一層際立たせ、そして守る、ハイグレード・ボディコーティングです。
- ガラス質被膜とフッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、お手入れもラクにします。



※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。



CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

- CPCは国内での販売実績が約30年。愛車の輝きを守りながら、お手入れをラクにするボディコーティングの定番です。

メタルトリートメント MT-10 (エムティーテン)

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エフィは、低油温状態のエンジンの摩擦抵抗も低減。ハイブリッド車やアイドリングストップ車にも最適です。



※MT-10エフィが日刊自動車新聞用品大賞2017「ケミカル部門賞」受賞。



安全運転のため360°視界スッキリ SKATO360 (スカット・サンロクマル)

- 雨の日の視界を良好にして、ドライバーや歩行者の安全のお役に立つウインドウガラス撥水コーティングです。
- 優れた撥水効果と長期間の持続性を持ち、フロントガラスだけでなく、サイドリアガラスにも施工でき、360°良好な視界を確保します。



※比較画像は水道水をホースで散水し、人工的に雨をイメージさせたものです。

※日刊自動車新聞用品大賞2009「ケミカル部門賞」受賞。

EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



※未施工ガラス面の水接触角



※施工済ガラス面の水接触角

SOCIAC アルコール検知器 “ソシアック”シリーズ

- 多数の官公庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。
- 測定履歴が保管できるタイプや、アルコール検知器の故障の有無を確認できる「テスターキット」も含め、プロドライバーにシリーズとして選ばれています。



売上代金の一部を公益財団法人交通違反等育成基金へ継続して寄付させて頂いております。

※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「サーフェティ部門賞」、同2011「サーフェティ部門賞」受賞。

Japan-Central Automotive Approved



プライベートブランド “J.C.A.P.”シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



海外拠点を拡充・活用しながらグローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へと、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。





FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO14001
本社 国内支社・営業所

昨年6月に開設した研究開発施設 中之島R&Dセンター

2017年6月に新設致しました「中之島R&Dセンター」は弊社の核となる施設であり、四季の気候を再現できる人工気象室をはじめ、新たな研究・試験機器も追加導入し、稼働しております。これまで以上に、開発・改善・改良のスピードと精度を向上させ、一層皆様のお役に立ち、ご満足頂ける開発型企業となるべく、本施設をフル活用してまいります。

人工気象室では、温度・湿度等、室内で四季の気候を再現することができます。

その中に実際の自動車を入れてボディコーティングをテスト的に施工。あらゆる地域・気候の環境下でも問題無く施工でき、優れた機能・特性が発揮されることを確認しています。



●人工気象室



●中之島R&Dセンター外観



●耐久性を確認する促進耐候性試験機



●撥水性を確かめる接触角計



●水滴の落下角を検証するスリップテスター



●微細な形状も分析するデジタルマイクロスコープ